

質疑並びに一般質問

代表質問

平成26年第1回定例会は、招集日に市長から26年度施政方針が示されました。このため他の定例会とは異なり、施政方針や26年度予算などの総括的な事項について、それぞれの会派を代表する議員による代表質問が行われました。代表質問・個人質問の記事は各議員が作成しています。白熱した議論の一部をお知らせします。

持続可能なまちづくり
少子高齢社会への対応力を問う

柏清風 古川隆史



▼市長選挙時の公約について
問 市長選挙の公約として掲げた4本柱、人が集まる街、安心安全な街、子どものための街、自然が美しい街を任期中どのように実現させていくのか、施策のロードマップを示し市民に説明責任を果たしていくことが必要であると考えているが。
答 任期中の施策の具体的な取り組み、実施の時期やその詳しい内容等に関しては、今後どのように進めることが一番効果的、効率的なのかを見きわめながら、最適な時期に最適な実施方法で推進するとともに、市民に示していきたい。

▼26年度予算編成
問 26年度は市税収入の伸びから、予算規模が大きくなっており、他自治体においても同様の傾向がある。本市における予算編成や財政運営の基本方針はどのようなものか。
答 将来の本市のために取り組むべきことと健全な財政運営の両立を基本として編成した。事業の選択に当たり、限られた財源の中で事業の成果や優先順位を検証し、見直しを行いながら喫緊の課題に対応するとともに、5年後、10年後を見据えた事業選択を行い、本市の発展に結びつく事業に財源を適切に配分した。健全な財政運営としては、歳入では収納対策強化、受益者負担の適正化、未利用地の売却等、歳出では民間委託の推進、公共施設の有効活用、補助金の見直し等に取り組み、経常的経費の抑制に努めた。市債の活用については、新規の発行額を当該年度の元金償還額以内に抑制することで将来世代に過度の負担を残さないように配慮した。

▼少子高齢社会への対応
問 市政の全ての分野における課題の背景には少子高齢社会への対応力が問われていると言っても過言ではない。基礎的自治体である本市がどのような将来を展望できるのか、具体的な数値を用いて議論していく必要があると考える。第五次総合計画の基礎調査の中には、そのデータが用意されると思うが、その内容を広く周知する必要があるのではないか。
答 本年度、第四次総合計画後期基本計画を分野別に類似都市と比較し社会指標分析を行うとともに、市民意識調査による市民ニーズの把握を行い、新総合計画策定に向けた現状分析を進めてきた。また、将来人口推計を新たな総合計画策定における分析データとして重視していきたいと考えており、政策や施策の立案上有効と考えられるテーマ別の人口推計を行い、その結果を総合計画審議会や市民参加によるワークショップなどでの議論の基礎としながら、新しい総合計画を策定していきたい。

▼子ども医療費助成
問 中学校3年生までの通院助成について、窓口負担を200円から300円に増額し、また対象を拡大した小学校4年生以上にも特化した事業であるにも関わらず、一部の方々に窓口負担の純増のみが生じることについて、どのような議論がなされたのか。
答 医療費負担は児童の年齢が上がるに従って低減していく傾向にあり、4年生以上の児童の通院に係る医療費はそれ以前の年齢に比べ比較的大きくならず、また高額な負担を伴う入院助成についての所得制限は今回見送っている。現状の財政状況においては制度拡大に要する経費をいかに軽減し、制度の継続性を確保していくかという観点で制度設計せざるを得なかったため、自己負担の引き上げと所得制限の導入を行ったことを御理解いただきたい。

▼指定管理者制度導入の考え方
問 単に行政サービスを民間に任せるといった消極的な発想ではなく、市民の目に見える形で民間が提供するメリットを享受できるようにしていく必要があると考えるが。
答 施設の設置目的を達成するためのより効果的かつ効率的な方法を選択する中で指定管理者制度の活用を推進し、経費削減はもとより、市民に満足していた、いただける行政サービスの向上を図っていききたい。



多くの計画を有する柏駅周辺

議会だより1面写真展を開催しました!



2月3日～6日に柏市役所本庁舎ロビーにて、2月7日～13日に沼南公民館ロビーにて、2月14日～20日に中央公民館ロビーにて、過去の議会だよりの1面写真に応募いただいた作品の展示会を行いました。ごらんいただいた皆様、ありがとうございました。

▼市立病院整備基本方針
問 新病院のビジョン、経営戦略等はどうのような内容か。
答 小児救急医療や災害医療、感染症医療への対応、在宅医療への支援や医療連携を推進することとしており、小児二次救急を柱に、最新標準医療を確実に提供する病院を新病院のビジョンとしている。経営戦略に関しては、短期と中・長期の戦略を洗い出し、段階的な相応数の小児科医の確保や、安心して入院できる小児病床数の整備などを目指すこととしている。

▼総合計画の役割
問 各分野の行政計画を概観すると、これから本市が取り組むべき課題がほぼ抽出されていると思う。本来であれば総合計画は、基本構想に掲げた将来像を実現するための基本計画、実施計画という3層構成になっているが、各分野の部門計画が相当程度までまちづくりの将来像を示している中で、どのように総合計画を策定していくのか。
答 総合計画は各部門計画を策定する際の指針となる役割を担い、市の方向性や方針、基本的な考え方を示していく方向で策定してきており、各部門の具体的な事業の詳細は、部門計画の中に位置付けていく方向で策定してきている。



子ども・子育て支援新制度 シンボルマーク



市立柏病院